



## 環境林センターの設立

95年は、大同市南郊区で「環境林センター」の建設をはじめた年でもあります。大阪府、京都府、兵庫県をあわせた面積にも匹敵する大同市全域に点在する協力地を統括し、苗木生産、見本園、実験研修施設など重要な役割を持つ「環境林センター」は、この緑化協力活動の拠点となりました。

当初は村の好意で土地を借用していたのですが、2度の拡張を経て20haとなり、20年間の土地使用权を村から購入しました。井戸や土壌微生物による汚水浄化槽などの設備もそなえ、スタッフは「自己養活自己」を合言葉にがんばっていましたが、後述するように20年の契約満了を待たず2010年春に閉鎖され、「口泉植物園」に生まれ変わりました。